

寄り道



比叡地区を通った時、須藤金男さんのお宅で見事なイルミネーションが輝いていました。

このイルミネーション、須藤さんご家族が「明るい気分でクリスマスとお正月を」と、11月中旬頃に家や庭の木などに飾り付けたとのこと。

青や赤、黄色に灯るイルミネーションが、冬の夜に美しく輝いていました。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名	親の氏名	行政区
祥	菅野英行・優	須田
未	佐藤憲一・里実	前田
凛	北原 繁・美樹	白石
藍	佐藤好樹・綾子	大久保・外内

すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鳴原 ハルイ	93	長泥
大内 亨	75	八木沢・芦原
高橋 ヒロ子	66	小宮
佐藤 勝雄	87	伊丹沢
森 義市	70	上飯樋
佐々木 ハナ	69	八木沢・芦原
山口 ハナ	93	伊丹沢
佐藤 新	75	伊丹沢
菅野 伸	67	佐須
高橋 セツ	83	前田・八木沢
菅野 キク	87	伊丹沢
鈴木 サト	88	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

(平成16年11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



交付証を受け取る荒副団長



今回配備された4台の積載車

新たに4台の小型ポンプ付積載車

全ての行政区に消防車両が配備

村が、このたび購入した小型動力ポンプ付積載車4台を村消防団へ交付する「交付式・配備式」が、12月22日に役場前にて行われました。

まず交付式では、菅野村長が荒利喜副団長へ交付証を手渡した後、「今回の積載車交付を機に、

村民が安心して暮らせるよう、予防消防と消防活動に一層努めていただきたい」と訓示を述べました。

続いて、荒副団長から「厳しい財政状況の中、4台の積載車を交付いただきありがとうございます。今後とも団員一丸となつて、消防活動に精励することを誓います」と謝辞が述べられました。

続いて配備式が行われ、宮内、深谷前田・八木、大久保・外内の各部に配備書が交付されました。

これにより、20行政区全てに消防車両が配備されたことになりました。



パレードに出発する関係者ら

年末年始を事故ゼロ・犯罪ゼロで

交通安全・防犯ミニパレード

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動と防犯運動ミニパレードは、12月17日に行なわれ、関係者らが村内をパレードし、交通安全と防犯を呼びかけました。

この日は、交通安全協会や交通安全母の会、防犯協会、保護司会など21人が参加。7台の自動車に分かれてパレード。飲酒運転の防止や家の戸締りの徹底などを、交通安全母の会会員の肉声で村内全域に呼びかけました。

自立計画3つの柱

ハードからソフトへの変換

- ・第5次総合振興計画の実践
- ・農業振興を中心とした所得向上の推進
- ・健康づくり、福祉制度関連事業の取り組み
- ・人づくり教育の取り組み

行財政改革の断行

- ・役場組織の見直し
- ・職員定数の削減
- ・職員の意識統一・自立の視点に立った発想と行動
- ・事務事業の民間委託の推進
- ・コスト意識の高揚
- ・財政計画の推進
- ・歳入の確保(良質補助の確保、公共料金等の引き上げ)
- ・歳出の削減
 - ・人件費削減、事務事業の見直し(統廃合・縮小)、普通

村民と行政の協働の推進

- ・「まかせる村づくり」から「かかわる村づくり」の推進
- ・やるきつながらプランの推進
- ・行政情報の公開、住民との情報の共有化
- ・経済の地域内循環型社会の構築



村政懇談会のようす

自立に向けた村政懇談会

2月から地区懇談会も開催

飯館村が自立の道を歩むにあたり、村民と行政の理解を深めようと、「自立に向けた村政懇談会」が、12月21日に公民館、22日は「いちばん館」でそれぞれ学区単位を対象に開催されました。

懇談会では、はじめに菅野村長が、合併協議会

から離脱した理由や経緯、自立に向けての目標や理念等について説明したの続き、自立対策係の職員が、自立計画大綱(案)について説明しました。

説明後の懇談では、出席した住民から、住民生活や行政サービスの将来像、公共料金見直しなどによる負担増を不安視する声や、自立計画大綱(案)への意見や要望等が相次ぎました。

村では今後、地区懇談会をはじめ村民と話す機会を多く設けながら、今年11月までに自立計画をつくる予定です。

長泥行政区

ヤーコンうどんを製品化

中山間地域等直接支払制度を活用



製品化したヤーコンうどん

長泥行政区では、国の中山間地域等直接支払制度の補助を利用してヤーコンの栽培とその加工品づくりに取り組み、このほどヤーコンうどんを製品化しました。

健康食品として注目されているヤーコン。今年度は、購入した250本の苗を行政区の各戸に配布し、栽培してきました。集めたヤーコンの葉を乾燥させ、粉末にして麺に練り込んだこのうどん。

小高町の製麺会社へ依



各戸で栽培したヤーコン

頼し、今回は650袋を製造。村内の直売所などで販売しています。

同行行政区では、今後もヤーコンを使ったメニューの開発や加工品づくりに取り組んでいくことにしています。